

対象年度	令和 8年度		総合計画実施計画策定及び行政評価シート					予算事業名	消費生活センター運営経費	
事務事業名	消費生活センター運営事業							根拠法令	消費者安全法・結城市消費生活センターの組織、運営等に関する条例	
予算科目	会計	01	款 07	項 01	目 02	事業 1201	要求区分 經常経費	事業の区分	主要事業	
総合計画体系	歴史と自然を育み にぎわいと活力ある産業を目指そう 活力と創造力を育む商工業の振興 健全な消費生活の確保						担当課係等	商工観光課 商工振興係		
	事業期間	継続 (年度～ 年度)								
【めざす姿 (意図・どのような状態になるのか)】							【事業開始のきっかけや他市の状況など】			
※消費者行政事業へ統合										
【手段 (事業内容・どのようなことを行うのか)】							【対象 (だれに対して・何に対して行うのか)】			
※消費者行政事業へ統合							全市民			
							【事業をとりまく環境の変化】			
【令和 8年度 事業内容】			【令和 9年度 事業内容】				【令和10年度 事業内容】			

■ 事業費										
財 源 内 訳	国庫支出金	R06年度	0	R07年度	0					
	県支出金		0		0					
	地方債		0		0					
	その他		0		0					
	一般財源		103		78					
	歳入計 (千円)		103		78					
	節 (番号 + 名称)	金額 (千円)	金額 (千円)							
	10 需用費	50	20							
	11 役務費	30	30							
	18 負担金補助及び交付金	23	28							
歳 出 内 訳										
歳出計 (千円) (A)		103		78						
伸び率 (%)				-24.27						
備考	総合計画 89 ページ 予算書 144 ~ 145 ページ									

令和 6年度行政評価シート

■指標

種類	指標名	単位		R06年度	R07年度	R08年度
活動 指標	相談員の研修会の参加回数	回	目標	6.00	6.00	6.00
	オンライン等の研修も含む		実績	6.00	0.00	0.00
			目標	0.00	0.00	0.00
			実績	0.00	0.00	0.00
成果 指標	相談件数	件	目標	330.00	300.00	310.00
	消費生活センターへの相談(電話・来訪・文書等)		実績	298.00	0.00	0.00
			目標	0.00	0.00	0.00
			実績	0.00	0.00	0.00

■事業評価

必要性	事業の必要性	A 必要性は高い	消費生活センターの必要性は高いが、事業としては消費者行政事業と統合する。
妥当性	実施主体の妥当性	A 妥当である	公共性・公益性が高く、行政が実施すべきである。
	手段の妥当性	A 妥当である	他市町村と比較しても、現在の手段が妥当である。
効率性	コストの効率性・人員効率	A 改善の余地はない	2名の相談員で運営しており過不足はないが、全国的に相談員不足が懸念されており、将来的な課題である。
公平性	受益者の偏り	A 偏りは見られない	市民なら誰でも相談できるため。
有効性	成果向上の余地	B どちらも言えない	相談件数は横ばいとなっている。
進捗度	事業の進捗	A 順調である	消費者の相談窓口として機能している。
総合評価 上記評価を踏まえて事業全体について評価し、問題点・課題等を指摘してください			
現体制におけるセンターの運営には大きな問題がない一方で、将来的な相談員不足が懸念される。また、センターの認知度を上げる必要がある。			
対応策提言等 この事業を今後どのように改善・改革をしていきますか			
「消費者行政事業」と統合し、啓発活動と相談対応の一体化や効率的なセンター運営、将来的な相談員不足等に対応するため県や近隣市町村との連携促進を図る。			

■方向性

1次評価（1次評価者として判断した今後の事務事業の方向性（改革・改善策））	
<input type="checkbox"/> 拡充（人・モノ・カネ等の拡充） <input type="checkbox"/> 改善改革しながら継続 <input type="checkbox"/> 現状のまま継続（改善・改革なし） <input checked="" type="checkbox"/> 統合・新規事業への展開 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止・終了 <input type="checkbox"/> 予定どおりの要求 <input type="checkbox"/> 一部改善の上要求 <input type="checkbox"/> 今回は見送り <input type="checkbox"/> その他の処置	
方向性の具体的内容	
多様化する消費者問題に対応するため、最新情報を学習できる研修等を受講するなどの相談員のスキルアップは不可欠である。また、将来的な相談員の不足等に対応するため、人材育成を図る必要がある。本事業は「消費者行政事業」と統合し、啓発活動と相談対応の一体化を行うことで事業の効率化を図る。	
2次評価（2次評価者として判断した今後の事務事業の方向性（改革・改善策））	
<input type="checkbox"/> 拡充（人・モノ・カネ等の拡充） <input type="checkbox"/> 改善改革しながら継続 <input type="checkbox"/> 現状のまま継続（改善・改革なし） <input type="checkbox"/> 統合・新規事業への展開 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止・終了 <input type="checkbox"/> 予定どおりの要求 <input type="checkbox"/> 一部改善の上要求 <input type="checkbox"/> 今回は見送り <input type="checkbox"/> その他の処置	
企画調整会議の意見・考え方（1次評価者と同じ場合も記入）	
上記評価のとおり	
管理課連絡欄	